

(公表用)

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成27年度採択)

事後評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
27-1	災害・日常時の道路の信頼性とその総合・長期的評価の研究開発：幹線道路ネットワークデザインと維持管理計画	金沢大学 教授 中山 晶一郎	B
<p><研究の概要> ※成果報告レポートより引用</p> <p>災害・日常時の両方で信頼性の高い道路ネットワークの整備を目指して、連結・時間信頼性を考慮した総合的な便益評価法を実用化し、それをを用いた道路ネットワークデザイン手法を検討する。そのために、道路施設の脆弱性評価や通常時所要時間変動の推定などの要素技術を開発する。また、長期にわたり信頼性を確保するためにその維持管理計画策定法なども提案する。</p> <p><事後評価結果></p> <p>時間信頼性を考慮した評価法の構築のほか、通常時所要時間変動の推定や道路施設の脆弱性評価などの要素技術の開発等で、研究成果を挙げている。しかし、連結信頼性を考慮した評価法や、総合・長期評価のシステム構築などについては、さらなる検討が必要と考えられる。このことから、研究目的は概ね達成され、研究成果があったと評価する。</p> <p><参考意見></p> <ol style="list-style-type: none">1. 道路ネットワークの信頼性解析の方法論開発はレベルが高いが、施設統合データベースシステム構築の内容は相対的にやや劣るのではないかと見受けられる。維持管理と連動したネットワーク計画評価という研究の狙いが見えづらい。2. 災害時を含めた道路ネットワークの信頼性について、理論的に優れた研究成果を挙げると同時に、地方大学の特徴を活かした自治体連携による実務的な成果もあげている点が特筆される。3. 「時間信頼性を考慮した評価法」について、道路局等の実務担当者との間で研究内容・研究成果の説明や意見交換等を行って、実務での利用性を検討・確認していくことが考えられる。4. 実用化に向けて課題や留意点を実務者が理解できるように整理することを期待する。5. 「道路施設管理データベース」については、石川県内の道路の道路管理者との連携を続け、実際の道路管理での利用や、さらなる発展を期待する。			

※本事後評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第37回新道路技術会議において審議したものである。